

2022年度 学校評価公表シート

安田幼稚園

評価の仕方…保護者の評価：保護者アンケートの4段階評価を平均にしたもの

自園の評価：各クラス・学年で成果が見られた子どもの割合を示し、（※）で照らし合わせ表記したもの

（※）80%以上…4 60%～79%…3 40%～59%…2 40%未満…1

アンケート回収率・・・年少組 100% 年中組97% 年長組 97%

4…そう思う　3…やや思う　2…あまり思わない　1…思わない				自園評価		保護者評価		
				学年	総評	学年	総評	
点目標 （4つの柱を通してやさしくつよい安田っ子の育成を目指して	心通う あいさつ	年少	日常生活の挨拶が分かり、使えるようになる指導を行っている	3.7	3.8	3.8	3.9	
		年中	気持ちの良い挨拶をする指導を行っている	4		3.9		
		年長	誰にでも進んで挨拶ができる指導を行っている	3.5		3.9		
		全学年	生活習慣の定着を目指し、自立を促す指導を行っている	3.8		3.8		
	友達 いっぱい	年少	未就園児や年上の友達と関わって遊ぶようになる指導を行っている	3.3	3.6	3.8	3.8	
		年中	異年齢の友達に親しみをもち、進んで関わるようになる指導を行っている	3.5		3.7		
		年長	年下の友達に親しみをもち、進んで世話をしたり一緒に遊んだりする指導を行っている	3.5		3.8		
		全学年	友達と一緒に体を動かして遊び、つよい心、丈夫な体を育てる指導を行っている	3.9		3.9		
			クラスや学年の友達に親しみをもち、いろいろな友達と関わりをもてる指導を行っている	3.8		3.8		
		自然との かかわり	年少	園庭の草花や野菜に関心をもてる指導を行っている	3.7	3.7	3.7	3.8
			年中	花や野菜に関心をもち、栽培したり観察したりする指導を行っている	3.5		3.8	
	年長		野菜の栽培を喜んだり、生長の変化を観察したりすることができる指導を行っている	4	3.8			
	おはなし 広場	年少	英語の時間は、子ども達にとって英語や英語の先生に親しむ体験となっている	4	3.9	3.8	3.8	
		年中	英語の時間は、喜んで参加し、英語に親しむ体験になっている	4		3.6		
		年長	イングリッシュタイムの中で積極的に英語を声に出して発音したり、ネイティブの先生に親しみをもったりする体験になっている	4		3.8		
		全学年	絵本の貸し出しや読み聞かせ「おはなし広場」は絵本が好きになる体験となっている	3.9		3.9		
			聞く力、話す力、考える力を育む指導を行っている	3.7		3.7		
	保護者との 連携	年少	おやくそく表の取り組みは、たくましい力の育成につなげる指導となっている	3.4	3.4	3.4	3.4	
		年中				3.5		
		年長				3.4		
			保育便りやクラス便り、個人懇談は、分かりやすい内容となっている		3.8	3.8		
			ホームページは、園児の様子を伝えている		3.9	3.9		
食育	給食の実施や食事に関する指導は、食への関心を高める事や良いマナーの定着につながっている			3.6	3.6			

学校評価アンケート結果と考察、今後の課題

○4つの柱（「心通う挨拶」「友達いっぱい」「自然とのかかわり」「おはなし広場」）の重点目標について

- ・総評3.8～3.9と高い評価をいただいた。保護者評価よりも自園評価の方が高い項目がある。園での子どもの様子や成長を理解して頂けるように、今後も「伝える」努力を行っていく。
- ・「心通う挨拶」の項目では「3.9」と最も高い評価をいただいた。今後も年齢に応じてスキルアップしていけるよう家庭の協力を得ながら指導していきたい。
- ・「友達いっぱい」の項目では、保護者評価が「3.8」と高かった。異年齢からなる「仲良し3人組」の定期的な取り組みが異年齢児に対する優しさや親しみ、憧れの気持ちの育ちに繋がり、評価されたようである。但し、自園評価は低く、その理由として、今年度もコロナ禍で未就園児との交流が持てなかったことが挙げられる。今後は、コロナ禍以前の取り組みへと戻し、異年齢交流の機会を積極的に取り入れていく。
- ・「自然とのかかわり」の項目の今後の課題は、個人の関心の度合いの差に対する教師のかかわり方である。学園の農園での収穫体験に加え、園内で出来る栽培・収穫体験も計画的に実施してきたが、変化が緩やかな栽培活動の中で関心を持続できるような取り組みの工夫や個々への積極的な働きかけを行っていく。
- ・「おはなし広場」の総評は、保護者評価よりも自園評価の方が高い。今年度も英語教育に力を注ぎ、英語のDVDを視聴する機会を作ったり、遊びの時間に英語のCDを流したりするなど、昨年度よりも英語に触れる機会を増やした。昨年度に引き続き、ほぼ毎日、安田小学校のネイティブの先生が来園してくださったことで、遊びを通して英語に触れる機会となった。また、学期に1回、英語での挨拶週間「ハローウィーク」を設けた。週に1度の「イングリッシュタイム」で習った単語の発音や歌、やりとりなどをクラスの活動の中に取り入れた。今後も、生活の中に「英語」がある環境づくりを目指していく。

○ 保護者との連携について

- ・家庭に協力していただいた約束表の取り組みについての評価は、自園評価、保護者評価共に3.4であった。自分のことは自分で行う「生活力」や「継続すること」がたくましい力に繋がる事、「生活力」は園と家庭との連携が不可欠であることへの理解を深め、家庭との連携を強化していきたい。

○ 食育について

- ・給食や食事に関する指導では、保護者評価も自園評価も3.6であった。10月から給食導入したことで、様々な食材やメニューに触れることのできる良い機会となったが、アレルギー対応が大きな課題である。弁当を持参していたときに比べ、偏食指導に重点がいき、箸の持ち方やマナーに関する指導が不十分であったことが課題である。来年度は昼食時の参観を取り入れ、家庭との連携により食育指導を行っていく。

○ その他

- ・保護者の皆様から、全体的に高い評価を得ているが、現状に満足することなく、今後もより質の高い教育を目指していきたい。
- ・3学年共に、4つの柱にそれぞれの重点項目を掲げ“目指す子ども像”に向け3年間を見通した指導を行ってきた。各学年の取り組みと指導に対して自園評価を行い、アンケートによる保護者評価を併せ、上記のように反省・課題など明確にした。今後は、反省・課題に対して具体的方策を掲げ改善に取り組んでいきたい。